生徒代表のことば

校舎から見える山々の峰の雪も溶け始め、春の訪れを感じる季節となりました。

本日、私たちの学び舎である福島県立大沼高等学校の閉校式にあたって、生徒を代表してあいさつさせていただきます。

今ここに立ち会えることへの感謝の思いと、もうこの校名を名乗って校外活動ができない寂しさという二つの複雑な思いがあります。私たちが学んできた大沼高校は、地域に根ざした歴史ある学校として昨年１００周年を迎え、ここで学び伝統を築きあげてこられた諸先輩方とともに１００周年記念式典に臨み、共に祝い、喜びの時間を共有したばかりです。

１年あるいは２年という短い間ではありましたが、「誠実・明朗・健康」の校訓のもとで学んだ日々、みんなで協力し作り上げた蜂苑祭、足の裏が痛くなるほど歩き続けた強歩大会、クラス一丸となり優勝を目指して頑張ったスポーツ大会など、数え切れない思い出がこの大沼高校には詰まっています。

４月からは、大沼高校と坂下高校とが統合して会津西陵高校となり、坂下高校の皆さんと新たに学校生活を送っていくことになります。どのような形で迎え、どのような態度で接していけばよいか、正直不安な面もありますが、新しい出会いが生まれるという喜びもあります。

ありがとう大沼高等学校、ありがとう１００年の歴史と伝統。

これから私たちは新しい光に向かって進んでいきます。新しく「会津西陵高等学校」になったとしても、この「大沼高等学校」の１００年間の歴史と伝統を誇りに思い、仲間と共に学び続けていくことを誓います。

最後になりますが、私たち大沼高生の学校生活をさまざまな面で支えてくださった全ての方々に改めて感謝申し上げ、生徒代表のことばといたします。

令和４年３月１６日

生徒代表　※※　※